

- 問1 明治初期、政府は外貨を獲得するために輸出産業の育成に力を入れました。北関東の群馬県に設立され、フランスから技術者や機械を導入して、日本における近代産業の先駆けとなった官営模範工場はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 生糸の品質向上を目的とした富岡製糸場
  2. 軍艦の建造を目的とした横須賀造船所
  3. 鉄鋼の国産化を目的とした八幡製鉄所
  4. 綿糸の大量生産を目的とした大阪紡績会社
- 
- 問2 明治時代後半、軍備の拡張や鉄道網の整備に不可欠な鉄鋼を国産化するために設立された、北九州に位置する官営製鉄所の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 八幡製鉄所
  2. 富岡製糸場
  3. 三菱長崎造船所
  4. 芝浦製作所
- 
- 問3 伊藤博文が憲法調査のために辿った行程について説明した次の文章のうち、適切なものを選びなさい。なお、調査団はアメリカ大陸を横断し、大西洋を渡ってヨーロッパへと向かったものとします。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 大西洋を渡った後、ヨーロッパ大陸の北部に位置し、君主権の強い憲法を持つドイツ（ベルリン）を訪問した。
  2. 大西洋を渡った後、地中海を抜けて南ヨーロッパに位置し、共和制を基本とするイタリアを訪問した。
  3. アメリカ大陸を横断する途中で、大統領制の仕組みを学ぶためにアメリカの首都を最終目的地として留まった。
  4. 大西洋を渡る前に、北米大陸の北部に位置し、イギリス連邦の一部として発展していたカナダで憲法調査を行った。
- 
- 問4 1882年の立憲改進黨の結成から、1901年の官営八幡製鉄所の操業開始までの期間が示された近代史の年表において、1889年の大日本帝国憲法発布の翌年である1890年に行われ、日本の議会政治の始まりとなった出来事として適切なものはどれですか。 (2023年 山形公立入試 類似)
1. 第一回帝国議会の開催
  2. 農地改革の実施
  3. 王政復古の大号令
  4. 米騒動の発生
- 
- 問5 岩倉使節団が視察した当時のイギリスにおいて、世界貿易を主導する強力な工業生産力を支えていた、主な地下資源と背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 愛知公立入試 類似)
1. 国内で豊富に産出された石炭と鉄を活用し、産業革命によって工業化を進めた。
  2. 植民地から獲得した石油と天然ガスを活用し、重化学工業を飛躍させた。
  3. 銀や銅を輸出することで得た利益を元手に、繊維工業の機械化を図った。
  4. 広大な森林から得られる木材を燃料とし、蒸気機関に頼らない手工業を発展させた。
- 
- 問6 日本の領土が確定していく過程において、1905年に政府が「他国が領有している形跡がない」という国際法上の原則（無主地の先占）を確認した上で、島根県への編入を閣議決定した島はどれですか。 (2025年 島根公立入試 類似)
1. 竹島
  2. 小笠原諸島
  3. 南樺太
  4. 尖閣諸島
- 
- 問7 明治時代、日本の科学技術は欧米の技術導入を経て国際的な水準へと発展しました。この時期、ドイツへ留学してコッホに師事し、帰国後に伝染病研究所を設立するとともに、香港でペスト菌を発見するという功績を挙げた人物は誰ですか。 (2023年 富山公立入試 類似)
1. 北里柴三郎
  2. 野口英世
  3. 志賀潔
  4. 杉田玄白
- 
- 問8 1911年に達成された条約改正により、日本は幕末以来の課題であった不平等な状況を完全に解消しました。この時、外務大臣であった小村寿太郎が成し遂げた「関税自主権の回復」とは、どのような状態になることを指しますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 兵庫公立入試 類似)
1. 自国に輸入される商品に対して、日本が自らの判断で税率を決めることができるようになること
  2. 日本国内で犯罪を犯した外国人を、日本の法律に基づいて日本の裁判所で裁けるようになること
  3. 特定の国に対して与えた有利な条件を、他国にも自動的に適用する義務を廃止すること
  4. 外国の商人が日本国内の開港場以外でも自由に居住し、商売を行えるようになること
- 
- 問9 1905年、アメリカの仲介によって日露戦争の講和条約であるポーツマス条約が締結されました。しかし、この条約の内容に不満を持った人々が東京の日比谷公園で集会を開き、警察署や新聞社などを襲撃する暴動へと発展した事件を何といいますか。 (2021年 岐阜公立入試 類似)
1. 日比谷焼き討ち事件
  2. 米騒動
  3. 柳条湖事件
  4. 五・一五事件
- 
- 問10 明治維新後、長州藩出身で初代内閣総理大臣を務めた人物が中心となり、ヨーロッパの制度を調査した上で大日本帝国憲法が起草されました。この人物が憲法制定にあたって最も手本とした国の憲法はどれですか。 (2018年 三重公立入試 類似)
1. 国王の権限が制限され、議会政治の伝統を持つイギリスの憲法
  2. 人民主権を基本とし、大統領制を採用しているアメリカの憲法
  3. 君主権が非常に強く、当時の日本の状況に近いと考えられたドイツ（プロイセン）の憲法
  4. 人権宣言の影響を強く受け、国民の自由を重視したフランスの憲法
- 
- 問11 1894年に勃発した日清戦争が、当時の日本にとってどのような意義を持っていたか、その背景や影響を説明する文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島での主導権を握ることで、ロシアの南下政策に対抗し、大陸への進出拠点を得るため。
  2. 欧米列強による植民地支配からアジア諸国を解放し、東アジアの平和を維持するため。
  3. 日本国内で高まっていた武士の不満を解消するために、海外へ関心を向けさせるため。
  4. 第一次世界大戦による好景気を背景に、中国市場への輸出を大幅に拡大させるため。
- 
- 問12 20世紀初頭のヨーロッパでは、列強が二つの陣営に分かれて対立を深めていました。ドイツ、オーストリア、イタリアの3か国が結んでいた軍事同盟の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 鳥取公立入試 類似)
1. 三国協商
  2. 三国同盟
  3. 国際連盟
  4. 日独伊三国同盟
- 
- 問13 孫文が指導した近代中国の革命運動において、彼が東京で組織した団体の活動内容やその後の経緯を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫公立入試 類似)
1. 王朝を倒して近代国家をつくる運動を推進し、辛亥革命を経て中華民国を成立させた。
  2. 鎖国を行っていた清を説得し、日本との間に近代的な条約を結ぶことに専念した。
  3. 共産主義に基づいた国家建設を目指し、北京を中心に大規模な農民反乱を指揮した。
  4. 清の皇帝を擁護しながら、議会を開設して君主制のまま政治改革を行うことを主張した。
- 
- 問14 1885年にそれまでの太政官制に代わって導入された、行政の責任を明確にするための新しい仕組みを何といいますか。この制度の創設により、初代の内閣総理大臣が誕生しました。 (2019年 和歌山公立入試 類似)
1. 内閣制度
  2. 議院内閣制
  3. 枢密院
  4. 太政官制

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 生糸の品質向上を目的とした富岡製糸場	明治政府は、当時の主要な輸出製品であった生糸の品質を向上させ、国際競争力を高めるために、フランスの技術を取り入れた富岡製糸場を設立しました。政府が自ら経営して民間の手本とする「官営模範工場」の代表例であり、ここで技術を学んだ工女たちが全国にその技術を広める役割を果たしました。福岡県の八幡製鉄所や、民間による大阪紡績社と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 八幡製鉄所	明治政府は、軍備の強化や近代化を進めるために、鉄鋼の国内生産を急ぎました。そこで1901年、ドイツの協力を得て北九州に八幡製鉄所が操業を開始しました。これにより、鉄鋼の自給率が高まり、日本の近代産業の基盤が確立されました。富岡製糸場は明治初期にフランスの技術で設立された官営模範工場ですが、こちらは軽工業である生糸の生産を目的としたものです。
問3	答え 1 大西洋を渡った後、ヨーロッパ大陸の北部に位置し、君主権の強い憲法を持つドイツ（ベルリン）を訪問した。	伊藤博文は、アメリカを経由してヨーロッパへ向かう行程の中で、日本の手本とすべき憲法体制を探しました。最終的に、日本と同じく後発の近代国家でありながら、強力な君主権（皇帝権）によって国力を高めていたドイツ（プロイセン）のベルリンを主な調査地として選び、大日本帝国憲法の骨組みを作り上げました。
問4	答え 1 第一回帝国議会の開催	1889年に発布された大日本帝国憲法に基づき、翌年の1890年に日本で初めての国政選挙である第1回衆議院議員総選挙が実施され、同年11月に第一回帝国議会が召集されました。これにより、日本はアジアで初めて本格的な議会を持つ立憲国家となりました。選択肢にある農地改革は戦後の1946年、王政復古の大号令は幕末の1867年、米騒動は1918年の出来事です。
問5	答え 1 国内で豊富に産出された石炭と鉄を活用し、産業革命によって工業化を進めた。	イギリスの産業革命を支えた重要な要素は、エネルギー源としての石炭と、機械や鉄道の材料となる鉄が国内で豊富に産出されたことでした。これらを利用して蒸気機関を活用した機械工業を進展させたことで、イギリスは世界最大の工業国としての地位を確立し、世界貿易を支配しました。
問6	答え 1 竹島	明治政府は各地で領土の編入を進めました。1905年1月、政府はそれまで帰属が不明確であった竹島について、他国の領有の形跡がないことを確認し、近代国際法のルールに基づいて領有の意思を決定し、島根県への編入を行いました。小笠原諸島は1876年に日本領として国際的に認められており、時期や背景が異なります。
問7	答え 1 北里柴三郎	北里柴三郎は「日本の近代医学の父」と称され、ペスト菌の発見や破傷風の治療法の開発など、細菌学の分野で世界的な成果を挙げました。野口英世は黄熱病の研究、志賀潔は赤痢菌の発見で知られていますが、ペスト菌の発見と伝染病研究所の設立に関連するのは北里柴三郎です。
問8	答え 1 自国に輸入される商品に対して、日本が自らの判断で税率を決めることができるようになること	関税自主権の回復とは、国家が自国の産業を守るために、輸入品にかかる関税の率を自ら決定する権利を持つことを指します。幕末の不平等条約では日本にこの権利がなく、安価な外国製品の流入を制限しにくい状況にありました。1911年に小村寿太郎がこの権利を回復したことで、日本の産業保護と国家財政の安定が図られました。なお、「日本の裁判所で裁けるようになること」は、1894年に達成された領事裁判権（治外法権）の撤廃を指します。
問9	答え 1 日比谷焼き討ち事件	日露戦争の講和会議では、日本はロシアから韓国（大韓帝国）に対する指導権や樺太の南半分、満州の権益などを得ました。しかし、国民が強く期待していた賠償金の獲得には至りませんでした。戦争による重税や出征に耐えてきた民衆は、この結果に激怒し、東京の日比谷公園での集会をきっかけに大規模な暴動を引き起こしました。これがきっかけで、当時の桂太郎内閣は総辞職に追い込まれました。
問10	答え 3 君主権が非常に強く、当時の日本の状況に近いと考えられたドイツ（プロイセン）の憲法	伊藤博文は、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くため、君主権が強いドイツ（プロイセン）の憲法を参考にしました。彼は実際にヨーロッパへ渡って調査を行い、日本の国情に適合する立憲君主制の枠組みを作り上げました。
問11	答え 1 朝鮮半島での主導権を握ることで、ロシアの南下政策に対抗し、大陸への進出拠点を得るため。	明治政府は自国の安全保障と大陸進出の観点から、朝鮮半島における清の影響力を排除することを目指していました。また、当時南下政策を進めていたロシアの影響力が朝鮮に及ぶことを警戒しており、戦争を通じて日本に有利な地政学的状況を作り出そうとしたのが大きな背景です。
問12	答え 2 三国同盟	19世紀後半、統一を成し遂げたドイツはオーストリア、イタリアとともに「三国同盟」を結成しました。これに対し、ドイツの急速な台頭を警戒したイギリス、フランス、ロシアは「三国協商」を形成して対抗しました。この二大陣営の対立が、のちの第一次世界大戦の背景となりました。
問13	答え 1 王朝を倒して近代国家をつくる運動を推進し、辛亥革命を経て中華民国を成立させた。	孫文は、腐敗が進んでいた清の体制では列強の侵略に対抗できないと考え、武力による革命と共和制の導入を主張しました。東京で結成された中国同盟会は、こうした革命勢力の結集点となり、1911年の辛亥革命へとつながる大きな力となりました。この運動は、単なる王朝交代ではなく、中国の近代化を目指す大きな転換点としての意味を持っています。
問14	答え 1 内閣制度	明治政府は、近代国家にふさわしい立憲体制を整えるため、1885年にそれまでの太政官制を廃止して内閣制度を創設しました。これにより行政各部の責任が明確化され、初代内閣総理大臣として伊藤博文が就任しました。